

2021年度 第7回 理事会 抄録

日 時： 2021年10月9日（土） 9：30 ～ 12：00

場 所： WEB会議

出席者

理 事： 齊藤、内山、大工谷、吉井、
湯元、清宮、佐々木、白石、森本、網本、板倉、大淵、小川、梶村、
黒澤、高橋（哲）、高橋（仁）、田中、谷口、西山、友清、松井
監 事： 太田、櫻田、辺土名

説明者

河野 礼治氏（第55回日本理学療法学会 2020in おおいた 大会長）
江本 達也氏（選挙管理委員会 委員長）

欠席者

理 事： 藤澤
監 事： なし

報告事項 1:

（全2題）

1. 「第55回日本理学療法学会 2020in おおいた」大会報告・監査報告

（白石常務理事、河野礼治氏、太田監事、櫻田監事、辺土名監事）

「第55回日本理学療法学会 2020in おおいた」について、開催報告・監査報告がなされた。
開催報告では、河野礼治氏より、初のオンライン開催となった本大会での運用面や費用面のメリット、新規の取り組みや工夫点、今後の課題を含めて報告がなされた。
監査報告においては、適正に処理されていることを認めるとの報告があった。

2. 2021年度実施の日本理学療法士協会代議員選挙の選挙告示・実施要綱の報告

（江本 選挙管理委員会 委員長）

本年度実施される日本理学療法士協会代議員選挙の選挙告示ならびに実施要領について、報告がなされた。

審議事項 1 :

(全2題)

1. 第51回定時総会の開催方式ならびに場所の承認について	(斉藤会長)	承認
2022年6月開催予定の第51回定時総会の開催方式ならびに場所について以下の案にて審議され、承認された。		
＜第51回定時総会＞		
・開催方式) オンライン (参加者はウェブ会議による参加とする)		
・配信場所) 日本理学療法士協会3階会議		
2. 新入会員の承認について	(斉藤会長、内山副会長、大工谷副会長、吉井副会長)	承認
2021年6月16日～2021年8月15日の間、新たに申請をした正会員623名について審議され、承認された。併せて、復会者43名、休会者102名、退会者50名、賛助会員退会1社との報告がなされた。		

報告事項 2 :

(全 17 題)

1. 2021 年度 第 2 四半期職務執行状況報告

(各業務執行理事)

2021 年 6 月 6 日～9 月 (第 2 四半期) の業務執行状況について報告がなされた。

【主な意見】

- ・大規模臨床研究助成 (一億円プロジェクト) について研究結果の活用状況はいかがか。
⇒理学療法 (士) の費用対効果が見込めることを示唆する研究報告も上がっていると認識している。
今後は、研究結果の活用について検討しておく必要があると考えている。

- ・事務局組織体制変更の 2023 年度に向けた検討について、どのようにお考えか。
⇒6 月の組織体制変更にあたって、業務分掌の切り分けについて課題を持ちながらスタートを切った部分もある。今後の経過を見つつ検討してまいりたい。
⇒業務分掌を調整する部分も大事。達成指標等を活用し効果判定も進められるとよい。

- ・障がい児 (発達障がい児) 対策事業についての着地点をどのようにお考えか。
⇒理学療法士が障がい児にどのように関われるかについて明らかにすることを目的とし、まずは会員への周知を冊子等で行ってまいりたい。
⇒医療的ケア児支援法も施行されたところでもあり、理学療法士の障がい児の関わりは、今後の職域拡大に非常に重要な要素となる。士会で積極的に活動を展開しているところもあると聞く。冊子による広報活動の今後の展開もご検討いただきたい。
⇒学校保健の分野とも関連するので、連携を取って検討を進めていく。

- ・中級障害者スポーツ育成事業の開催をこれまで本会が支援してきたが、事業継続や活用についてどのようにお考えか。
⇒士会事業での継続としているが、本会からの方針を示して欲しいとご要望をいただいている。士会を対象としたアンケートを実施しながら支援方法等について検討していく予定。活用していくためには、士会と各地域の障がい者スポーツ団体との連携が必要であると認識している。オリパラで関心が高まっている現在の機運を逃さず、取り組みを進めてまいりたい。

- ・認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関の応募状況はいかがか。
⇒締め切りを 10 月末としている。現状 5 施設、今後増えることを期待している。問い合わせに対して回答につながる動画をアップする等周知を進めている。機関側のメリットも提示しながら応募状況について注視していく。
⇒本件に関する周知動画を拝見した。スマホで視聴するユーザーが増えた。動画配信の際にはテロップ等検討していただきたい (意見)。

- ・高齢労働者の就労支援モデル事業について、どのような事業を想定しているのか？
⇒雇用する側からみた高齢労働者の対しての視点と、人材を派遣する側から企業に対してアプローチする視点があるかと思う。それぞれの課題やニーズを踏まえて、理学療法士の視点でサポートできることがないかなどについて検討している。
コロナ禍において、運送・小売り・福祉現場において転倒者・腰痛者が一気に増えており、各団体に対して、

転倒腰痛予防を進めてほしいと厚労省から通知が発出された。そういった背景を含めて企業や団体に対して、理学療法士ができることがないか確認しつつ、厚労省の労働基準局にも伺いを立てながら、今後の展開について検討してまいりたい。

- ・ 新生涯学習制度における認定・専門理学療法士 更新に関わる点数基準について。
必須要件として分科学会等における筆頭演者の発表を含めて欲しい
⇒学会連合法人化の状況を踏まえ、要件について精査する。

2. 常任理事会の会議報告について (湯元専務理事)

2021年8月3日～9月7日に開催された常任理事会の会議報告について、報告がなされた。

3. 2022年度事業概況について (湯元専務理事)

2022年度事業予算要求の仮集計に基づき、2022年度事業概況について、報告がなされた。

4. 新包括的会員管理システムの構築状況について (湯元専務理事)

「新包括的会員管理システム」の構築に関する進捗について、報告がなされた。

5. 事務局報告について (9月) (湯元専務理事)

9月の会員動向等について、報告がなされた。

6. 新生涯学習制度の進捗状況について (白石常務理事)

2022年度4月開始の新生涯学習制度について、現在の構築状況について資料に基づき報告がなされた。

7. 組織運営協議会の議題について (湯元専務理事)

2021年10月9日開催の組織運営協議会の議題について資料に基づき報告がなされた。

8. 理学療法士賠償責任保険任意加入部分(上乘せ補償プラン)の一部見直しについて (湯元専務理事)

本制度の任意加入部分のひとつである団体総合生活補償保険(個人賠償)について、補填が充実させる視点から見直しがなされた点について資料に基づき報告がなされた。

9. 高年齢労働者の就労支援モデル事業について (佐々木常務理事)
都道府県理学療法士会に対して、高年齢労働者の就労支援モデル事業の募集を開始した件について、資料に基づき報告がなされた。
10. 令和4年度診療報酬改定要望書の提出について（全国リハビリテーション医療関連団体協議会からの要望書提出） (佐々木常務理事)
令和4年度診療報酬改定要望書を、全国リハビリテーション医療関連団体協議会から提出した件について、資料に基づき報告がなされた。
11. 令和4年度診療報酬改定要望書の提出について（日本理学療法士協会からの要望書提出） (佐々木常務理事)
令和4年度診療報酬改定要望書を、日本理学療法士協会からの単独要望として提出した件について、資料に基づき報告がなされた。
12. 「新生涯学習制度認定理学療法士認定試験に関する業務委託」入札結果について (白石常務理事)
「新生涯学習制度 認定理学療法士認定試験に関する業務委託」における入札を実施し、経理規程第4条第1項第1号（ア）の規程に基づき報告がなされた。
12. 「運動器の健康」推進のグローバル戦略 報告書 (大工谷副会長)
本会が会員（参加団体）となっている運動器の健康・日本協会から提出された「運動器の健康・世界運動」国際本部が発表した「運動器の健康」推進のグローバル戦略報告書について、情報提供として報告がなされた。
14. アメリカ理学療法士協会 100周年記念イベント参加報告 (斉藤会長)
9月13日にアメリカ理学療法士協会 100周年記念イベントについて資料に基づき報告がなされた。

15. 世界理学療法連盟 (World Physiotherapy) の規則について

(大工谷副会長)

世界理学療法連盟 (World Physiotherapy)より規則に関する資料の提出があり、日本語で仮訳を作成した資料について報告がなされた。

16. 部会構成員の追加について

(吉井副会長・湯元専務理事)

士会支援事業運営部会、オリパラレガシー編集作業部会、スポーツ理学療法の全国展開・推進運営部会、理学療法ハンドブック作成部会の構成員について、調整中であった部会員が決定し、資料に基づき報告がなされた。

17. 2021年保健文化賞の選考結果について

(増田 表彰委員会委員長)

第一生命保険株式会社からの2021年保健文化賞の推薦依頼に対し、本会からの推薦者は選出されなかった件について資料に基づき報告がなされた。

以上